

## 令和8年度第45回別府市人権教育学級はじめの会及び学習会

日時 令和8年6月4日(木) 14:00~16:00  
場所 別府市社会福祉会館 多目的大広間

### 1 別府市長挨拶（概要）

本学級は、別府市教育委員会ならびに別府市PTA連合会の多大なるご協力とご支援を賜りながら、地域における人権意識を高めるために重要な役割を担ってきている。これまでご参加いただいた皆様には、深く敬意を表したい。

「部落差別解消推進法」「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」の施行から10年の節目を迎え、さらに、「男女共同参画社会基本法」「LGBT理解増進法」等の法律も整備されている。

しかしながら、インターネット上における誹謗中傷の増加や無意識の偏見に起因する差別等、克服すべき課題が依然として存在する近年において、人権尊重の意識向上、とりわけ、子どもたちには、自分らしく幸せに生きるための権利の存在を伝え続けることこそが大人の責務である。

私たち大人が学び続け、自他を尊重する姿勢を自らの行動で示すことは、次代を担う子どもたちへ確かな未来を引き継ぐことにつながる。本学級参加の皆様の学びが実り多く、ご家族やご友人、地域社会へ還流できるような有意義な交流の場となることを心より祈念する。

※別府市長挨拶は、別府市 市民福祉部長 阿南剛代読

※別府市PTA連合会長 廣石昇と、別府市教育委員会教育長 寺岡悌二のご挨拶は紙面にてお配りさせていただきました。

### 【活動の様子】



〈阿南 剛 市民福祉部長〉



〈学習会の様子Ⅰ〉



〈学習会の様子Ⅱ〉



〈グループワークの様子〉

### 2 学習会 講師:人権教育学級担当 栗林 太郎

#### (1) オリエンテーション

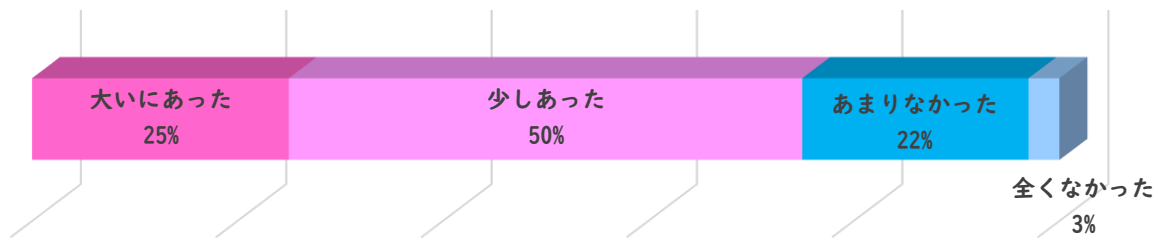
- ・人権教育学級の説明
- ・人権問題の現状

#### (2) 第1回学習会

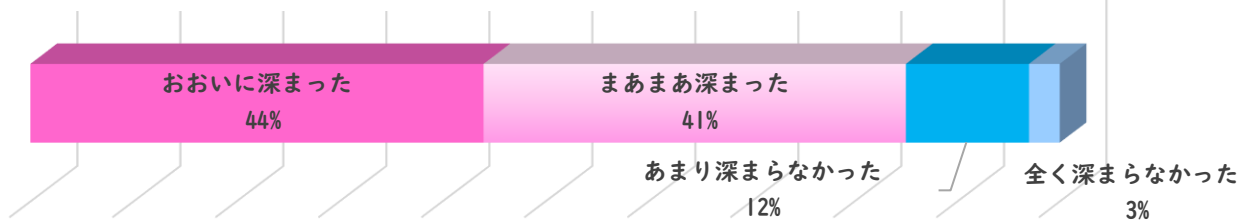
- ①DVD視聴「部落の心を伝えたい」
- ②「部落差別問題」と「子どもの人権」についての説明
- ③グループワーク（DVD視聴の感想交流と今後の子どもとの接し方についての意見交流）
- ④まとめ

### 3 参加者意識調査

(1) 今回の講座に参加する以前に、人権問題について、どのくらい関心がありましたか。



(2) 今回の講座に参加して、人権問題について、関心や理解が深まりましたか。



(3) 今回の講座に参加して、行動しようと思ったことはどんなことはありますか。(複数回答可)



### 4 参加者の感想

- いろいろな人権について、くり返しくり返し学び、意識を持ち続けていきたいと思いました。
- 部落差別があることで「働くことができない→お金がない→苦しい生活を送らないといけない→貧しい生活のために学校でこどもがいじめられる」という負の連鎖が続いてしまうのだなと感じました。また、苦しい家庭環境の中で育ったこどもが親になった時、子育ての仕方を知らないで虐待してしまう点についても負の連鎖だと思いました。負の連鎖を断ち切るためには、差別のおかしさに気づき差別をしない努力が本当に大切だと思いました。このような考え方がどんどん広まってほしいと思います。
- 今回の人権教育学級に参加したことによって、現在でもいろいろな差別があることを知ることができました。人権問題の中でも、いじめや不登校、引きこもりなど、子育て中の私にとっても、気になる問題であり、家でこどもに差別や人権問題について、どう伝えていけば良いか考えるきっかけとなりました。グループワークでお話できたことによって、先輩方のリアルなお話を聴くことができて良かったです。
- 差別というものを意識することが大事だと思いました。差別という言葉を知って自分は差別をしていないと思い込んでいる人が多いような気がしています。そうであると、人権学習に興味を持たないようになる気がします。こどもが安心して過ごせる親子関係となるように親のサポートなども必ず必要になってくると思います。すべての人が穏やかに過ごせる日々が来ると良いと思います。
- 映像音声が多く聞き取りづらかったのが残念でした。実際、差別を受けた方の話が聴けてよかったです。